

グローバル化の発展

23C121酒井駿・23C183西川日菜・23C269山田王喜

対象企業：一般社団法人 日本旅行業協会

TABLE OF CONTENTS

- 01 テーマ解釈
- 02 現状分析
- 03 提案
- 04 フィードバック
- 05 得られる成果
- 06 まとめ

01. テーマ解釈

01

テーマ解釈

テーマ：益々グローバル化、ボーダーレス化が進む国際社会において、活躍できる日本人を長期的に育て続けるためのアイデアを提案して下さい

一般社団法人 日本旅行業協会

グローバル化、ボーダーレス化とは？

人、モノ、金、情報が国や地域を超えて世界規模で結びつき、世界の一体化が進むこと、国境の線引きがないこと

01

テーマ解釈

国際社会において長期的に活躍できる人材とは？

実用的な英語力

異文化理解力

コミュニケーション能力

問題解決力

リーダーシップ力

チャレンジ精神

なぜこれらの能力が必要か？→社会のグローバル化に対応するため

02. 現状分析

- 01** 海外への興味や国際交流について
海外に興味があるけれど関わる機会が少ない
- 02** 英語力
実践的な英語力に自信がない
- 03** 企業から必要とされるスキル
コミュ力や主体性などの社会人基礎力

02

現状分析

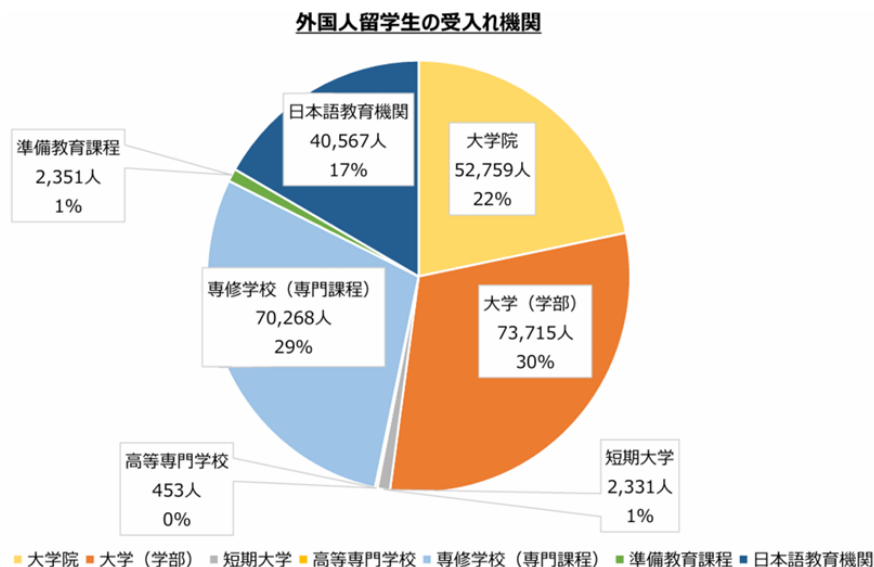
1. 海外への興味や国際交流について

「中学校」「高校」の留学状況

日本では留学をサポートしている機関が「大学院」「大学」が多く「中学校」や「高校」などではあまり海外留学に対するサポートが少ない



国際交流が少ない



【出典】 内閣官房 より

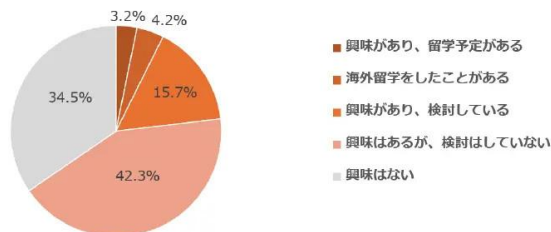
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/dai4/siryou4.pdf>

02

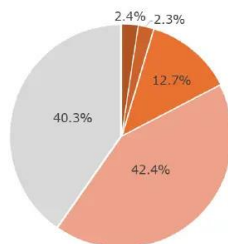
現状分析

1. 海外への興味や国際交流について

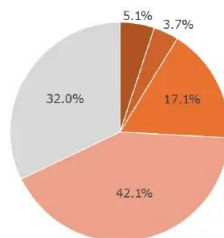
あなたは海外留学に興味がありますか
全体 N=4,362



男性 n=1,421



女性 n=2,834



海外留学に行きたい人の割合は高い
海外に興味があり、留学予定、検討している
割合も多い

しかし、興味はあるが検討はしていない
学生も多く、一歩踏み込めない学生が
多いのではないか

【出典】UniLife（ユニライフ）学生調査：学生の海外志向に関する調査 より
<https://www.jsb.co.jp/news/detail/post-744.php>

02

現状分析

2. 英語力

国・地域名	TOEIC L&R トータル平均スコア	国・地域名	TOEIC L&R トータル平均スコア
ドイツ	826	クウェート	645
チリ	807	カメルーン	627
レバノン	800	ヨルダン川西岸地区	621
イタリア	794	セネガル	617
フィリピン	793	ギリシャ	613
コスタリカ	765	コートジボワール	604
ベルギー	760	ブルキナファソ	596
インド	759	日本	574
モロッコ	749	エルサルバドル	573
ヨルダン	745	コンゴ共和国	571
スペイン	739	ガボン	567
フランス	738	パナマ	566
ペルー	727	台湾	565
エジプト	715	メキシコ	550
チュニジア	712	香港	548
ニカラグア	703	中華人民共和国	547
マダガスカル	692	レユニオン	546
コロンビア	687	モンゴル	542
アルジェリア	684	ベトナム	531
マレーシア	681	アルバニア	516
韓国	679	タイ	511
ブラジル	662	インドネシア	480
ポーランド	659		

- 日本平均スコアは574点
- 表の中では45か国中31位と下から数えたほうが早い結果になっている

【出典】All About ニュース-日本のTOEIC (R) 平均スコアは「574点」

国別平均での順位は？【2021年スコア】より

<https://news.allabout.co.jp/articles/o/45247/>

02

現状分析

2. 英語力

TOEIC®スコアとコミュニケーション能力レベルとの相関表

レベル	TOEIC スコア	評価（ガイドライン）
A	860	Non-Nativeとして十分なコミュニケーションができる。 自己の経験の範囲内では、専門外の分野の話題に対しても十分な理解とふさわしい表現ができる。Native Speakerの域には一步隔たりがあるとはいえ、語彙・文法・構文のいずれをも正確に把握し、流暢に駆使する力を持っている。
B	730	どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている。 通常会話は完全に理解でき、応答もはやい。話題が特定分野にわたっても、対応できる力を持っている。業務上も大きな支障はない。正確さと流暢さに個人差があり、文法・構文上の誤りが見受けられる場合もあるが、意思疎通を妨げるほどではない。
C	470	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる。 通常会話であれば、要点を理解し、応答にも支障はない。複雑な場面における確な対応や意思疎通になると、巧拙の差が見られる。基本的な文法・構文は身についており、表現力の不足はあっても、とにかく自己の意思を伝える語彙を備えている。

- ・ 日本は文法・構文が身につけているが、表現力が乏しい「C（470点）」に該当する
- ・ スコアが「B（730点）」で通常の会話を難なくこなせて大きな支障もないレベル

【出典】国際ビジネスコミュニケーション協会-PROFICIENCY SCALE

https://www.iibc-global.org/hubfs/library/default/toEIC/official_data/lr/pdf/proficiency.pdf

02

現状分析

2. 英語力

グローバルビジネスの現場では、ほとんどのが英語を使用している

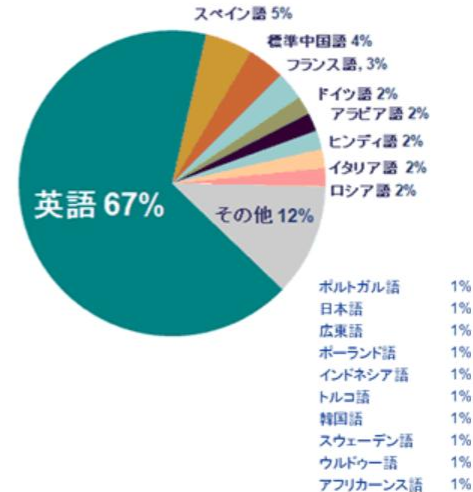


英語が話せれば、グローバル化にもついていけるのではないか

(表1) 国外在住の外国人とビジネス上のコミュニケーションが必要な仕事に就いている(%)

全体	27%
インド	59%
シンガポール	55%
サウジアラビア	50%
香港	44%
南アフリカ	42%
ベルギー	33%
トルコ	30%
インドネシア	29%
イタリア	27%
イギリス	26%
オーストラリア	24%
スペイン	24%
カナダ	23%
スウェーデン	22%
アメリカ	22%
ドイツ	21%
メキシコ	20%
中国	19%
アルゼンチン	17%
ブラジル	16%
フランス	15%
韓国	15%
ハンガリー	14%
ポーランド	14%
ロシア	13%
日本	9%

(表2) 国外在住の外国人とビジネス上のコミュニケーションで使用する言語(グローバル全体)



【出典】 イプソス「Global@dviser調査」より
<https://www.ipsos.com/ja-jp/common-launguage-business-2012>

02

現状分析

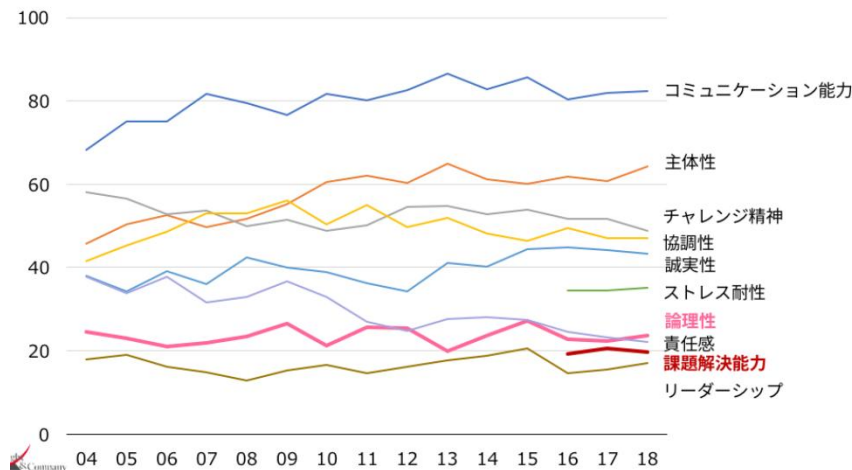
3. 企業から必要とされるスキル

企業から求められる能力TOP 3

1. コミュニケーション能力

2. 主体性

3. チャレンジ精神



[出典]問題力決定協会 問題解決力とは より

<https://monken.pro/about/>

3. 企業から必要とされるスキル

学生が必要だと思う能力TOP3

- 1.主体性
- 2.ストレスコントロール力
3. 実行力（チャレンジ精神）



企業と学生両方で主体性
とチャレンジ精神を重要視している

学生		
1	主体性	25.7%
2	ストレスコントロール力	11.4%
3	実行力	10.5%
4	柔軟性	7.1%
5	課題発見力	6.8%
6	創造力	6.2%
7	発信力	6.0%
8	規律性	6.0%
9	計画力	5.8%
10	傾聴力	5.2%
11	状況把握力	4.8%
12	働きかけ力	4.4%

【出典】サポネット 企業と学生の「社会人基礎力」イメージの違い より
<https://saponet.mynavi.jp/column/detail/20230329100103.html>

03. 提案

03

提案

審査項目

テーマの分析・検討
に資する情報の分
析

リアルコミュニケー
ションの場で活か
せる実践的なプロ
グラム内容

現役学生としての
視点

ツーリズムの観点

ワクワク感

03

提案

審査項目

テーマ解説インタビューの渡辺さんの発言から（一部抜粋）

参考までに、私たちの会長は、「**新成人全員にパスポートを配ってはどうか**」というアイデアを常々発信しています。これくらい**ダイナミックでインパクト**のあるアイデアをお待ちしています。



【引用】 マイナビ-JATA-テーマ解説インタビューから

https://job.mynavi.jp/start/project/theme_2025-1-1/company/

03

提案

審査項目

このことから

空想的アイデア> 実現的アイデア

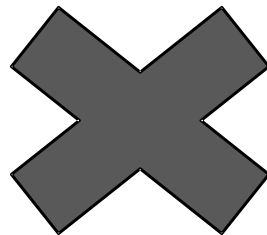
ということを重視している

03

提案

わたしたちはこの二つに着目

ツーリズムを
促進させる



社会人基礎力の
向上

03

提案

グローバル化におけるツーリズム

単なる旅行観光ではなく、人々の移動と交流の促進
⇒ただ海外へ旅行に行くのではなく、その土地の
文化理解や、現地の人との**交流**が重要

03

提案

英語力の現状分析から英語がまだまだ苦手な人が多いことが分かった



すべて翻訳アプリを使うのではなく

補助ツールとして活用して

コミュニケーションをとれる環境を作る



段階的に英語での発言の機会を増やし、自信とスキルを育てる

03

提案

【参考】 mybest 無料翻訳アプリのおすすめ人気ランキング より
<https://my-best.com/2206>

現在これらのたくさんの翻訳アプリがある

レシピー

Papago

翻訳王

Reverso

DeepL
翻訳

話す
翻訳機

Google
翻訳

英語がニガテな人でも外国の人と会話することができる！

03

提案

中高生向け×大学生向けプログラムの実施

A. 中高生向けプログラム

一週間の短期留学
その土地の文化を学ぶことを目的とする
現地の英語を体感

B. 大学生向けプログラム

オンラインで課題研究を行う
チームで話し合うため、互いの
価値観などを知れる

開催時期は両方とも学生にとってある程度時間に余裕がある夏休み（7月～9月）とする

03

提案

A. 中高生向けプログラム

短期留学の方法は、以下のステップで実施します。

step 1

募集

各国の政府がこのイベントに参加したい国内の学校に対して募集をかける

step 2

抽選

各国募集で集めた世界中の学校を全てまとめてペアを抽選し、そこでマッチング校を決定する

step 3

体験

お互いに留学する学年クラスを決め、相手の学校に短期間留学してもらう

03

提案

ルール

01

使用言語は英語

国際的な共通言語として
英語を積極的に使う

02

対象国はグローバル化が 進んでいる上位5カ国

例：アメリカ・シンガポールなど

03

対象校は 「中学校」「高等学校」

学校の学年に応じてマッチング

04

マッチングは 「同じ年齢・学年同士」

例：中学3年生（14～15
歳）同士で交換

05

留学中は「プロの通訳」と 翻訳アプリでサポート

双方の国から何人かを補
佐役として配置

06

留学期間は「1週間」

短期集中型で気軽に参加
できる



提案

内容

①自己紹介（家族構成、好きな食べ物、趣味など）		
②お互いの国で有名なゲーム（日本だとお手玉やけん玉）の体験やその国の料理を試食してもらう		
③遠足で自分たちの学校の近くにある有名な観光地や文化物を見学しに行く		
④その国で有名なスポーツを体育の授業として体験する		
⑤その国が抱えている問題について学習する		
⑥英語の授業で主に会話を中心とした内容		

03

提案

懸念点とその対策



文化・食生活の違い



事前に相手国文化のミニ授業
食文化体験会



カリキュラムの不一致



共通課題型授業を導入

国や文化が異なっても同じテーマで学
び、考え発表する授業形式

B.大学生向けプログラム

実施方法

- オンラインで行う
- ZOOMやTeamsを利用してリモート会議や資料作りをする
- 英語で話し合いや発表を行い、必要に応じて翻訳アプリの使用も可能とする

対象

- 大学生をはじめとした就職活動に取り組んでいる学生など（専門学生や大学1.2年生も参加できる）

内容

- 日本人の学生と海外の学生がチームになり、一つの課題を研究する
- 海外企業が提示するお題をグループごとにプレゼンをし、フィードバックをもらう

Q.なぜオンラインで開催するのか？



A.以下の2つの理由からオンラインで開催することにしました！

1. 開催時期が夏であるため、暑い中移動する必要がない
2. 開催日の近日にインターンやアルバイトなどの予定があっても自宅で参加することで日程を調整しやすい

03

提案

懸念点とその対策



時差がある



時差が少ないアジアの国々（オーストラリアやシンガポールなど）の企業（例：中国銀行、シンガポール・テレコムetc...）と学生と交流する



モチベーションの維持の難しさ



優秀なチームに報酬を与える
ex)表彰状やギフト券など

オンラインであるとリアルな雰囲気を感じられず、やる気が出にくい

04. フィードバック

中高生プログラムと大学生プログラムという2つの層に分けて提案してくれた点は非常によく、対象ごとのニーズに応じた構成が印象的でした。また、時差などオンラインならではの課題にも目を向けていた点も評価できます。今後は、この取り組みを日本から海外へのアプローチや、訪日外国人との双方向の交流といったリアルな接点にどう結びつけていくか示すことで、提案全体の広がりや深みが一層高まると感じました。

04

フィードバック

改善策

海外インフルエンサーや
著名人を起用しSNS
(TikTok, Youtube, Instaglam)
で日本の観光地やプログラムの
様子を世界中に配信

それぞれのプログラム(Aならス
ポーツやゲームなど)で高い評
価を得たチームには互いに交
流した国の旅行チケットを配布
する。



日本から海外へのアプローチやリアルの場での交流につながる

04

フィードバック

改善策

Aのプログラムにおいて留学生と
現地の学生でグループを作り観
光地に行き
外国人視点でその国のいい点と
不便な点を拾う

共通課題型授業として不便な点
の改善案を一緒に考え、自治体
や観光協会にフィードバック



良い点の拡散や観光地の整備でツーリズムの促進や訪日外国人との
交流にもつながる

05. 得られる成果

05

得られる成果

A. 中高生向けプログラム

語学力・異文化理解力
コミュニケーション力など

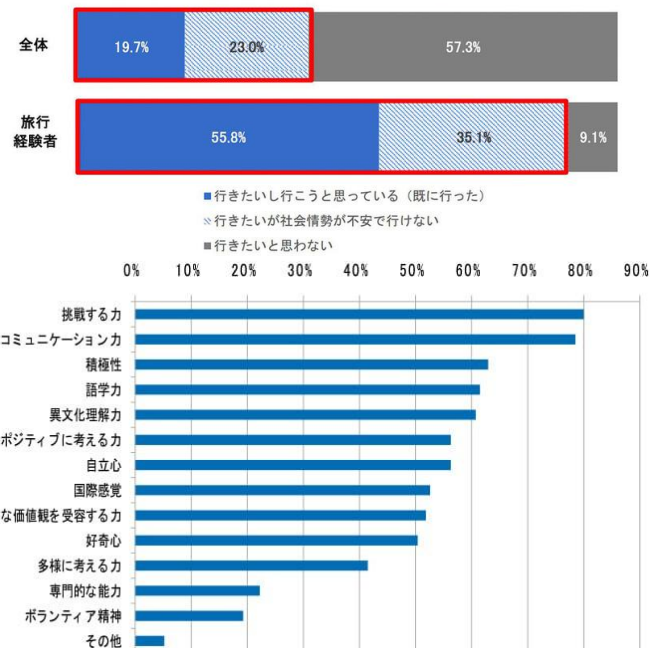
海外交流の機会を創出
海外へ行くことのハードルを下げる

学校そのものが国際的になる



将来海外に興味を持ったり海外留学や
旅行をする生徒が増加

図表 1: 2023 年こそ海外旅行に行きたいと思うか
全国の 19~25 歳の男女 400 名 (単一回答)



【出典】文部科学省トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム
派遣留学生へのアンケート より

05

得られる成果

B.大学生向けプログラム

向上する力

コミュニケーション能力、主体性、チャレンジ精神、課題解決力・情報収集力・分析力

プログラムに参加することでグローバルな人脈育成ができ、
海外企業に就職する機会を創出し理解が深まる
また、海外の企業が日本の学生に興味を持ってもらう機会となる

海外企業に就職してグローバル化を進めることができる！

06. まとめ

①短期留学を行うことによって海外との交流・興味・異文化理解が向上することで海外に行くことへのハードルが下がり**ツーリズムの促進**につながる

②ディスカッションでは**社会人基礎力**や**海外企業の実態**について学ぶことができ、海外企業やグローバルビジネスの場でも活躍できる能力を身に付ける



若者に対して国際人材育成を行うことができ
最終的に海外で活躍し**グローバル化**につながる！

参考文献

- 斎藤隆次 「ビジネスエリートが実践している異文化理解の全テクニック」 KADOKAWA (2019年).
- 内閣官房 外国人大学生の受け入れ機関 (2022年).
URL:<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/dai4/siryou4.pdf>
- 「日本人の海外留学の効果測定に関する調査研究」について 文部科学省 (2017年).URL:https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/_icsFiles/afieldfile/2018/11/22/1411310_1.pdf